

● 令和8年度国土技術政策総合研究所夏期インターンシップ実施課題一覧(つくば地区) (1/3)

R8.4.30現在

A. 個別分野コース: 河川、道路、住宅、港湾などの個別分野の研究について、講義、実習、研究業務の体験等を通じて理解を深めるコースです。

No.	実習課題名	実施目的	実施項目(案)	受入可能期間*	最大同時受入可能人数	担当研究部**
A-1	洪水・波の予測に関する研究開発	予警報や避難体制の充実に向けた洪水・波の予測技術や土砂流木を考慮した洪水浸水想定、水文・水理情報を見える化する技術に関する研究開発を体験する。	・洪水予測の高度化に関する研究 ・土砂流木を考慮した洪水浸水想定に関する研究 ・波の打上げ高の予測に関する研究 ・流域デジタルテストベッドを活用した水文・水理情報の見える化	全期間	1名	河川研究部
A-2	河川・海岸整備の計画に関する調査・研究	気候変動や社会動向を踏まえた河川・海岸整備の計画立案技術に関する研究開発を体験する。	・治水計画への気候変動影響の反映手法に関する研究 ・気候変動影響を考慮した海岸保全に関する研究 ・水害リスクを低減する流域治水の実効性向上に関する研究	全期間	1名	河川研究部
A-3	河川・ダム・海岸構造物の設計や管理に関する調査・研究	治水・利水・環境が調和する河川・ダム・海岸構造物の設計・管理に資する技術研究開発を体験する。	・河川や堤防に係る大型水理模型実験 ・海岸構造物に係る大型波浪模型実験 ・ダムの管理・運用に係るデータ収集・整理・分析	全期間	1名	河川研究部
A-4	土砂災害対策の技術を支える調査・観測・解析	土砂災害研究のための調査・観測・解析に関する基本的な知識を習得するとともに、流砂水文観測に関する講義・実習や、土砂災害観測機器に関する実習を通じて、国総研における土砂災害研究に関する理解を深める。	・土砂災害研究のための調査・観測・解析の基本について(講義) ・流砂水文観測の基本について(講義) ・流砂水文観測データの取り扱いについて(実習) ・土砂災害観測機器に関する調査(実習) ・流砂水文観測現地実習(関東地方の現場を想定、旅費交通費の参加者負担係う場合あり)	⑤~⑧	3名	土砂災害研究部
A-5	道路交通に関する調査・研究	希望する道路交通分野の研究について、研究職員とともに調査を行い、当該分野の知識の取得や国総研の仕事を経験する。	・道路計画・設計及び道路交通調査・分析に関する研究 ・道路交通安全、自転車通行空間に関する研究 ・環境保全、道路脱炭素化、道路空間の高質化に関する研究 ・自動運転、ETC2.0に関する研究	①、 ③~⑧	1名	道路交通研究部
A-6	道路構造物の設計・維持管理・マネジメントに関する調査・研究	希望する道路構造物に関する研究について、研究職員とともに調査を行い、当該分野の知識の習得や研究を経験する。	・道路橋の設計・維持管理・マネジメントに関する研究及び研修教材の作成 ・トンネルの設計・維持管理に関する研究 ・道路土工の設計・維持管理に関する研究 ・舗装の設計・維持管理に関する研究 ・リモートセンシングによる災害覚知に関する研究 ・道路構造研究部の研究内容の一般向けの外部発信方法の検討	全期間	2名	道路構造物研究部
A-7	公共土木工事に関する入札・契約から施工、監督検査までの一連のマネジメント技術に関する実習	品質向上、生産性向上を目的とする建設マネジメント技術・施策についての知見を深める。	公共土木工事に関する入札・契約から施工、監督検査までの一連のマネジメント技術について実習する。 ・品質・生産性向上・担い手確保・働き方改革・早期災害復旧・カーボンニュートラルに向けた入札契約方式・事業執行方式や事業評価に関する研究 ・建設生産プロセス(発注(積算・仕様書・工程設定等)、施工、監督・検査等)に関する研究(積算手法の高度化、コンクリート施工の生産性向上技術等) ・3次元計測技術を利用したICT施工に関する基準類作成、ICT建設機械により取得されるデータを活用した現場マネジメント手法の検討、建設分野におけるフィジカルAI導入に関する調査 ・建設事業で扱う情報をデジタルデータとして統合管理することで、受発注者のデータ活用・共有を容易にし、建設生産・管理システム全体の効率化を図るためのBIM/CIMに関する研究 ※お盆期間が含まれる場合は、その期間実習を休止にする場合があります。 ※実習期間中に屋外での実験等を予定しています(作業着等汚れても構わない服装が必要となる場合があります)。なお、ヘルメット等安全器具は当方で準備します。 ※実習期間中に近隣の現場や施設等に見学に行く場合があります(交通費がかかる場合があります)。	全期間	1名	社会資本マネジメント研究センター
A-8	非住宅建築物のエネルギー消費性能の実態分析に関する実習	非住宅建築物のエネルギー消費性能の実態分析に関わる実習を行い、建築物の省エネルギー化及び脱炭素化に関する最新の動向及び技術について理解を深める。	・省エネルギー基準の申請データ(1年あたり約12,000棟分)を分析し、外皮・設備設計仕様の実態を明らかにする。 ・実験室においてパッケージエアコンのエネルギー消費性能を計測し、エアコンの運転方法とエネルギー消費量の関係を明らかにする。	①~④、 ⑧	2名	住宅研究部
A-9	地域の特徴を捉えた住宅ストックマネジメント・住宅供給の方針検討	地域の特徴を捉えた住宅ストックマネジメント・住宅供給の方針検討に関する実習を行い、データの基本的な取り扱い方や、データ分析における基本的な考え方について理解を深める。	住宅に関連するテーマを設定し、関連する計量データ(統計データ)の収集・整理、計量データの評価・分析および分析を踏まえた、課題解決のための対策検討等の実習を行う。 設定テーマの例は以下のとおり。 ・災害からの住まいの復興における住宅供給の方針検討 ・増加する空き家への対策検討 ・地域の特徴を捉えた住宅供給・まちづくりの方針検討 など	①③④ ⑤⑦⑧	1名	住宅研究部
A-10	都市構造の評価に関する研究	本課題では、都市構造の評価指標および可視化手法に関する研究を学び、持続可能な都市構造の実現に向けた取り組みに関する理解を深める。	(1)都市構造評価指標および可視化手法の座学 (2)統計データやGISデータを用いた演習 (3)複数の評価指標を用いた都市間比較の演習 (4)成果発表	①③⑧	2名	都市研究部

※①7月27日(月)~7月31日(金) ②8月3日(月)~8月7日(金) ③8月17日(月)~8月21日(金) ④8月24日(月)~8月28日(金) ⑤8月31日(月)~9月4日(金) ⑥9月7日(月)~9月11日(金) ⑦令和8年9月14日(月)~9月18日(金) ⑧9月24日(木)~9月30日(水)

※※ 担当研究部に関する情報は、右記のWebページからご確認ください。

<https://www.nilim.go.jp/index.html#division>

● 令和8年度国土技術政策総合研究所夏期インターンシップ実施課題一覧(つくば地区) (2/3)

R8.4.30現在

B. 分野横断コース: 防災、環境、維持管理など、各分野が共通して取り組んでいる分野横断的な課題とその研究の動向について、講義やディスカッション等を通じて学ぶコースです。

No.	実習課題名	実施目的	実施項目(案)	受入可能期間	最大同時受入可能人数	担当組織**
B-1	防災・減災に向けた研究を学ぶ	近年、大規模地震の切迫性の高まりや地球規模での気候変動等、災害リスクが高まっており、インフラ整備などによるハード対策と、防災情報などを活用したソフト対策を組み合わせた防災・減災対策に取り組んでいく必要がある。本課題では、国総研で行われている防災・減災に向けた研究を知り、技術開発の側面から今後の防災・減災の進め方について知見を深めることを目的とする。	国総研で行われている防災・減災に向けた研究テーマについて、講義の受講、文献調査、ディスカッション、実験の見学等を行い、インターンシップ最終日に成果の発表を行う。 【研究テーマ(例)】 ・洪水時の被害の軽減につながる河川整備に関する研究 ・土砂災害対策に関する研究 ・地震時の道路交通機能の確保に関する研究 ・密集市街地整備に関する研究 ・災害時の専門家の現地派遣の活動について ※インターンシップ内で取り扱う研究テーマは、応募者の希望や研究室の受入体制等を踏まえて決定するため、上記のものになるとは限りません。	③④	5名	防災・減災研究推進本部
B-2	グリーン社会の実現に向けた研究を学ぶ	気候変動や生物多様性の損失などによる環境関連リスクは深刻さを増しており、まちづくり・インフラ、交通・運輸などくらしと経済を支える国土交通分野においても環境政策の推進が重要となっている。本課題では、国土・都市・地域空間における持続可能で強靱な「グリーン社会」の実現に向けて、国総研で行われている環境に関連する研究を知り、技術開発の側面から今後の環境対策のあり方について知見を深めることを目的とする。	国総研で行われている環境に関連する研究テーマについて、講義の受講、文献調査、ディスカッション、実験の見学等を行い、インターンシップ最終日に成果の発表を行う。 【研究テーマ(例)】 ・エネルギー消費を考慮した下水処理方法、下水汚泥資源の活用に関する調査・研究 ・建築物の省エネ性能に関する調査 ・都市の緑や暑熱問題に関する研究 ・建設分野におけるGHG(温室効果ガス)排出量の評価に関する調査・研究 ・都市の緑地が有する多面的機能に関する調査 ※インターンシップ内で取り扱う研究テーマは、応募者の希望や研究室の受入体制等を踏まえて決定するため、上記のものになるとは限りません。	③④	5名	グリーン社会実現研究推進本部
B-3	インフラマネジメントに関する研究を学ぶ	我が国では、高度経済成長期以降に集中的に整備されたインフラの老朽化が加速度的に進んでおり、適切にインフラの点検・修繕・更新を図るとともに、計画・設計・整備・修繕・改築などを統合的にマネジメントすることが重要となっている。本課題では、インフラのマネジメントを効率的・効果的に進めるために国総研で行われている研究を知り、技術開発の側面から今後のインフラマネジメントのあり方について知見を深めることを目的とする。	国総研で行われているインフラマネジメントに関する研究テーマについて、講義の受講、文献調査、ディスカッション、実験の見学等を行い、インターンシップ最終日に成果の発表を行う。 【研究テーマ(例)】 ・水道管路の効率的な改築・点検に関する研究 ・下水道管路マネジメントに関する調査 ・道路構造物のマネジメント(状況把握)に関する調査 ・コンクリート建築部材の劣化評価に関する研究 ※インターンシップ内で取り扱う研究テーマは、応募者の希望や研究室の受入体制等を踏まえて決定するため、上記のものになるとは限りません。	⑥⑦	5名	メンテナンス研究推進本部
B-4	インフラDXに関する研究を学ぶ	近年、データやデジタル技術の普及・拡大により、インターネットやソフトウェアといった技術革新が急速に進んでおり、インフラ分野においても、業務、組織、プロセス、文化・風土や働き方を抜本的に変革する「デジタル・トランスフォーメーション(DX)」を推進していく必要がある。本課題では、インフラDXを推進するために国総研で行われている研究を知り、技術開発の側面から今後のインフラDXの展望について知見を深めることを目的とする。	国総研で行われているインフラDXに関連する研究テーマについて、講義の受講、文献調査、ディスカッション、実験の見学等を行い、インターンシップ最終日に成果の発表を行う。 【研究テーマ(例)】 ・インフラに関するデータの管理・利活用に関する研究 ・建設現場における施工の高度化・生産性向上に関する研究 ・下水道管路調査技術の高度化に関する研究 ・建築分野におけるAI導入に関する研究 ・都市交通シミュレーターを活用する方策の検討 ・人工衛星を活用したインフラ管理・被災把握に関する研究 ※インターンシップ内で取り扱う研究テーマは、応募者の希望や研究室の受入体制等を踏まえて決定するため、上記のものになるとは限りません。	⑥⑦	5名	インフラDX研究推進本部
B-5	安全・安心な暮らしを支える研究を学ぶ	私たちの暮らしは、道路、都市、住宅など、様々なインフラによって日々支えられており、これらは安全で安心な暮らしに欠かせないものとなっている。本課題では、国総研で行われている安全・安心な暮らしを支える研究を知り、技術開発の側面からインフラの役割について知見を深めることを目的とする。	国総研で行われている安全・安心な暮らしを支える研究テーマについて、講義の受講、文献調査、ディスカッション、実験の見学等を行い、インターンシップ最終日に成果の発表を行う。 【研究テーマ(例)】 ・道路の交通安全対策に関する研究 ・国内外の建築物の火災事例の調査分析に関する研究 ・住宅政策に関するデータの整理・分析に関する調査 ※インターンシップ内で取り扱う研究テーマは、応募者の希望や研究室の受入体制等を踏まえて決定するため、上記のものになるとは限りません。	③④	5名	企画部

※①7月27日(月)～7月31日(金) ②8月3日(月)～8月7日(金) ③8月17日(月)～8月21日(金) ④8月24日(月)～8月28日(金) ⑤8月31日(月)～9月4日(金) ⑥9月7日(月)～9月11日(金) ⑦令和8年9月14日(月)～9月18日(金) ⑧9月24日(木)～9月30日(水)

※※ 担当組織に関する情報は、右記のWebページからご確認ください。

<https://www.nilim.go.jp/index.html#division>

● 令和8年度国土技術政策総合研究所夏期インターンシップ実施課題一覧(つくば地区) (3/3)

R8.4.30現在

C. 専門スキル活用コース: 大学などでの研究で培ってきた専門スキルを活用して、より専門的な調査研究業務に従事するコースです。

No.	実習課題名	実施目的	実施項目(案)	受入可能期間※	同一期間最大受入可能人数	実習生に求める知識・スキル	担当研究室**
C-1	道路橋の経年劣化のライフサイクルコスト試算	本課題では、道路構造物の維持修繕の適正化や効率化に関する研究において、道路橋の経年劣化のライフサイクルコストの試算を行うことにより、道路橋の維持管理に関する知見を深めるとともに、研究開発能力の向上を図る。	(1) 道路橋の代表的な損傷に関する文献調査(事前課題) (2) ライフサイクルコストの試算 (3) 試算結果のとりまとめ (4) 成果発表	①～⑧	1名	・橋の構造又は構造力学に関する知識	道路構造物 研究部 橋梁研究室
C-2	道路橋の損傷撤去部材や撤去ヤードのVR(バーチャルリアリティ)化に関する調査	本課題では、道路構造物の維持修繕の適正化や効率化に関する研究において、道路橋に生じている損傷をVR化し疑似体験できるツールとすることにより、道路橋の維持管理に関する知見を深めるとともに、研究開発能力の向上を図る。	(1) 道路橋の代表的な損傷に関する文献調査(事前課題) (2) 損傷部材のVR化の調査 (3) 調査結果のとりまとめ (4) 成果発表	①～⑧	1名	・橋の構造又は構造力学に関する知識	道路構造物 研究部 橋梁研究室
C-3	火災時の延焼防止抑制技術に関する研究	本課題では、建築火災安全に関する研究において、延焼防止技術に関する実験・解析等を行うことにより、構造耐火性能評価等に関する専門的知見を深めるとともに、研究開発に関する能力の向上を図る。	(1) 延焼防止技術等に関する文献調査(事前課題) (2) 火災時の温度上昇特性等に関する分析・実験等 (3) 区画構成部材等に関する実験・解析結果等のとりまとめ (4) 成果発表	①～⑤、 ⑦⑧	1名	・建築物の火災安全に係る法規の基礎知識 ・構造耐火設計に関する知識 ・熱伝導解析等の数値解析技術	建築研究部 防火基準 研究室

※①7月27日(月)～7月31日(金) ②8月3日(月)～8月7日(金) ③8月17日(月)～8月21日(金) ④8月24日(月)～8月28日(金) ⑤8月31日(月)～9月4日(金) ⑥9月7日(月)～9月11日(金) ⑦令和8年9月14日(月)～9月18日(金) ⑧9月24日(木)～9月30日(水)

** 担当研究室に関する情報は、右記のWebページからご確認ください。

<https://www.nilim.go.jp/index.html#division>